

資料 1

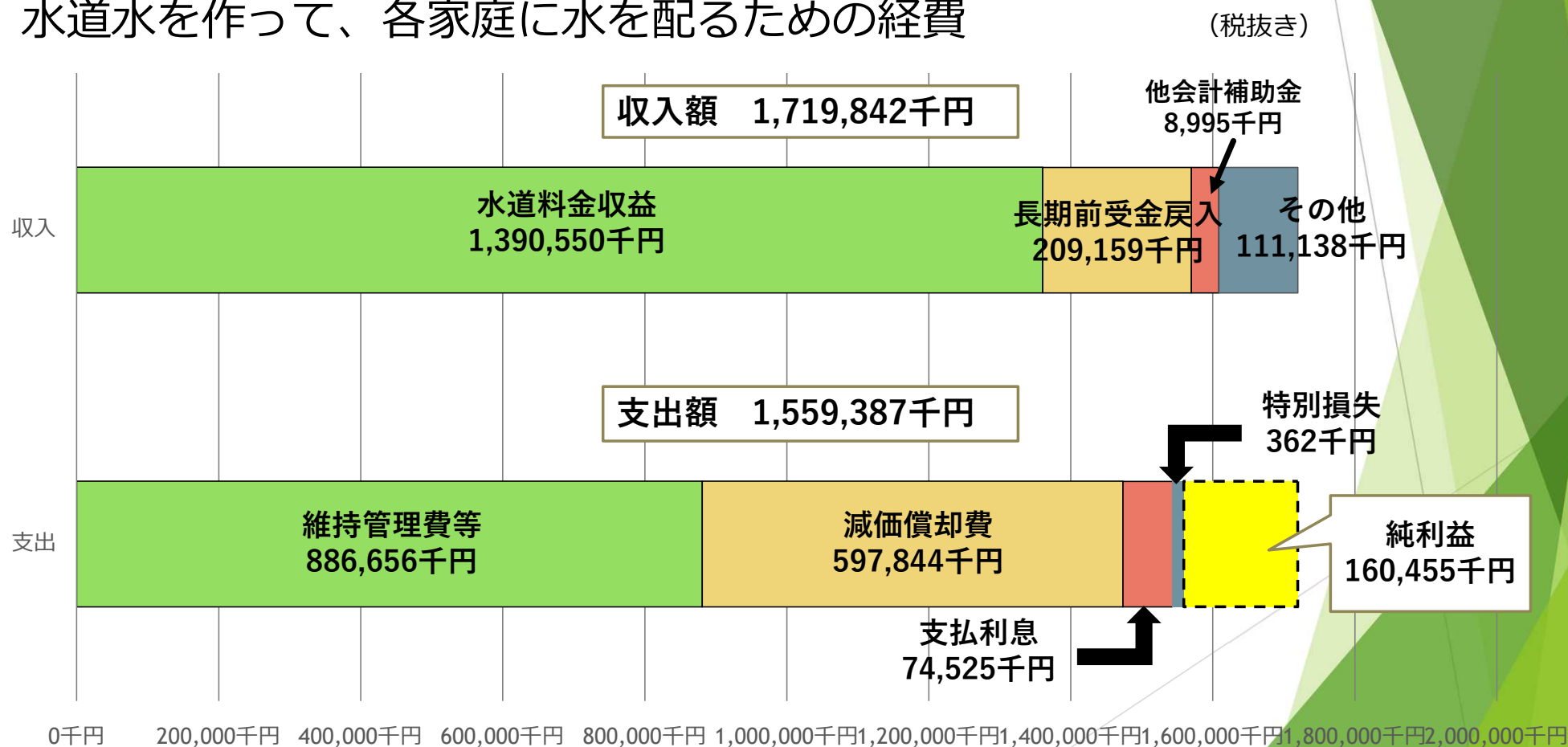
令和6年度 行田市水道事業会計 決算について

事業概要

事 項	単 位	令和6年度	令和5年度	前年度との比較		
				増・減	比率 (%)	
年度末給水人口	人	74,525	75,501	△ 976	△ 1.29	
給水区域内人口	人	77,426	78,135	△ 709	△ 0.91	
普及率	%	96.25	96.63	△ 0.38	-	
年度末給水戸数	戸	35,684	35,666	18	0.05	
配水量	年間	m ³	9,853,921	9,736,609	117,312	1.20
	一日平均	m ³	26,997	26,603	394	1.48
有収水量	年間	m ³	8,418,727	8,364,615	54,112	0.65
	一日平均	m ³	23,065	22,854	211	0.92
一日最大配水量	m ³	29,274	28,386	888	3.13	
有収率	%	85.44	85.91	△ 0.47	-	

収益的収支【3条：営業活動の結果】

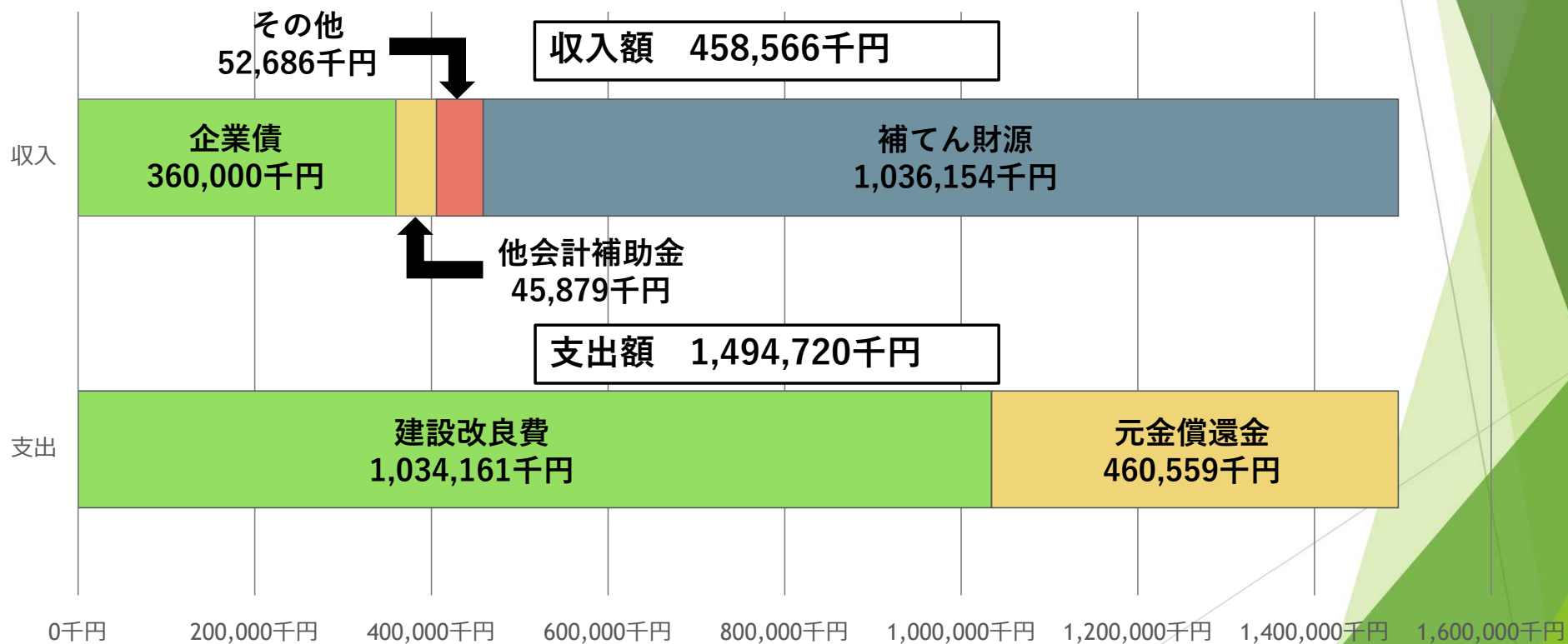
水道水を供給して得た収益と
水道水を作って、各家庭に水を配るための経費



資本的収支【4条：建設部門の結果】

水道管を布設するための負担金や企業債（借入金）
水道管布設・施設更新や企業債償還金などの経費

(税込み)



令和6年度事業の主な課題とその取組み

▶ 経営基盤の強化と財政マネジメントの向上

- 経営環境が厳しさを増す中で、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、経営戦略を改定しました。

▶ 有収率の向上

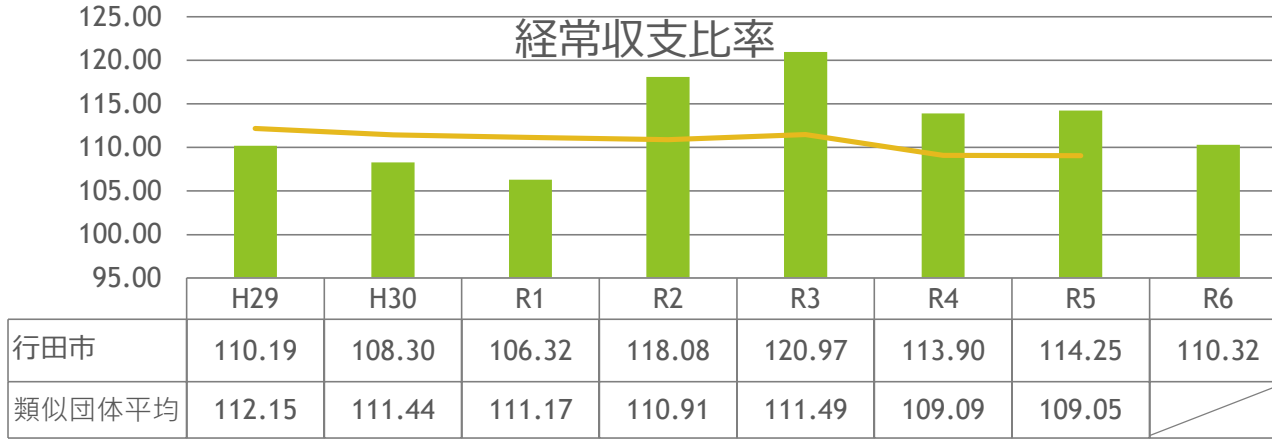
- 令和6年8月から令和7年3月まで漏水調査を実施しました。
- AI劣化診断により選定された路線の实地踏査や音聴棒や機器による調査を行い、調査の結果、40件(推定総漏水量12.183³m³/h)の漏水箇所を発見しました。

▶ 施設の老朽化対策

- 向町浄水場中央監視装置等更新工事を令和3年度から令和6年度までの継続事業として実施しました。
- 向町浄水場7号ろ過機等改修工事等の水道施設の改修工事及び水道管網の整備拡充や、老朽管の更新を実施しました。

経営分析

経常収支比率



■ 行田市 — 類似団体平均

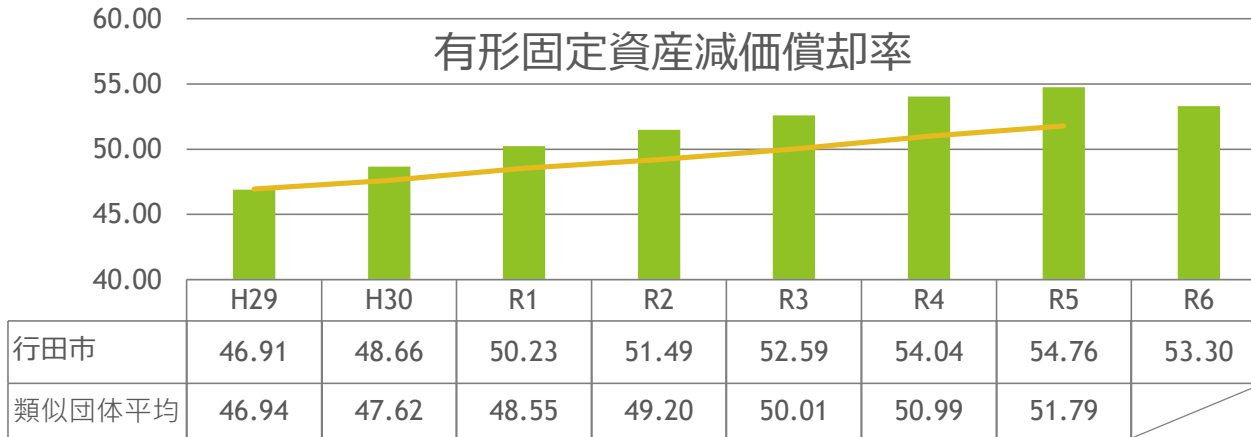
指標の意味

収益（3条）で維持費等がどの程度賄えているかを表す指標。100%以上が良いとされている。

行田市の状況

電気料金の増加や漏水調査の委託などにより、費用が増加したため約110%となった。

有形固定資産減価償却率



■ 行田市 — 類似団体平均

指標の意味

有形固定資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合。比率が高いほど老朽化が進んでいるとされている。

行田市の状況

向町浄水場中央監視装置等更新工事等の完了により、機械装置等の除却・新設が行われたため、前年度と比較し、減少した。